児童相談所関連研修「児童虐待への対応」

【第１回】	【 実　施　日 】	8 月 7 日（金）、12 日（水）
	【受講決定者数】	44 名
	【受講生の声】	・児童虐待が子どもにどのような影響があるのか改めて学ぶことができてよかった。トラウマをもつ子どもへの対応方法についても、実際の支援の場面で意識して取り組んでいきたい。 ・事例を通じて、他職種の方の意見を聞きながら、対応方針について協議できてとても勉強になった。多角的な視点を支援に取り入れることを忘れずにいたいと思う。 ・連携関係にある各機関の動き方が理解でき、他職種間における役割分担が具体的にイメージできるようになった。 ・母子保健について学ぶことはこれまでなかったため、母子保健部門がどのような観点で関わっているのかを学ぶことができ、今後の連携の際のイメージを持つことができた。 ・機中八策についてのお話は参考になった。子どもに対してのかかわり方について、ブルーカードとオレンジカードを使った映像の違いがとても明確で、イメージが付きやすかった。 ・全体を通して大変充実した講師陣、講義内容だと感じた。グループワークの機会も豊富に設けられていたため、他区の人材と交流、情報交換ができたこともありがたかった。
【第２回】	【 実　施　日 】	8 月 17 日（月）、18 日（火）
	【受講決定者数】	52 名
	【受講生の声】	・児童虐待の現状と課題、対応について知ることができた。暴力そのものだけでなく、トラウマという視点を意識する必要があると感じた。 ・支援者支援の視点を持つことが自分だけでなく結果的に相手の支援につながることを学んだ。 ・子ども家庭支援センター、児童相談所、要保護児童対策地域協議会の役割を再確認することが出来た。 ・保健師目線の業務の仕方やフォローの流れを具体的に知る機会がなかったので勉強になった。保健師とは連携していくケースも多いのでお互いの役割を再認識し、協力

		しあってケース対応していきたい。 ・グループに福祉士と心理士と保健師と SSW、子ども家庭支援センターと児相と学校といった様々な背景をもつ人がいて、同じ事例検討でも見方がそれぞれ違い、色んな視点を学ぶことができました。 ・最新のデータや取り組みを知ることができました。先生方のお話もそれぞれ大変興味深く、バランスの取れた構成だと思いました。